

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	川下太
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		598,500千円	
年 効 用		40,579千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	691,295千円	
費用便益比	= ÷	1.15	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	19,604	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆
営農経費の節減	16,889	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆
	3,036	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	1,050	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	40,579	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	中原南
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費		588,000千円	
年効用		47,347千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		27年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0632	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	749,161千円	
費用便益比	= ÷	1.27	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	12,311	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆	
農産物の品質向上	3,903	客土による水稲の品質向上(低タパク米) 対象作物：水稲	
営農経費の節減	営農経費節減効果	21,138	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆
	維持管理費節減効果	9,063	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	932	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路	
計	47,347		

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	袋達布
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		945,000千円	
年 効 用		72,958千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		27年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0632	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,154,399千円	
費用便益比	= ÷	1.22	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容	
農作物の生産量の増加	20,519	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、苺	
農産物の品質向上	6,300	客土による水稲の品質向上(低クハク米) 対象作物：水稲	
営農経費の節減	営農経費節減効果	31,358	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、苺
	維持管理費節減効果	5,706	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	9,075	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路	
計	72,958		

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	八雲
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		306,600千円	
年 効 用		18,656千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	358,081千円	
費用便益比	= ÷	1.16	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,895	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、苜蓿、ホソバ、 牧草、ホムコップサイレージ
営農経費の節減	3,681	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、大豆、苜蓿、ホソバ、 牧草、ホムコップサイレージ
	1,285	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	9,795	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	18,656	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	若松
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		514,500千円	
年 効 用		38,826千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		41年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	752,442千円	
費用便益比	= ÷	1.46	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	11,818	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小豆、小麦、馬鈴薯、甜菜、ゆり根、牧草
営農経費の節減	23,842	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、大豆、小豆、小麦、馬鈴薯、甜菜、ゆり根、牧草
	1,873	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	1,293	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	38,826	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	深川北南
-----	----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費		3,391,500千円	
年効用		261,547千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5,199,742千円	
費用便益比	= ÷	1.53	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	68,366	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 畑、苜蓿、馬鈴薯
営農経費の節減	85,823	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 畑、苜蓿、馬鈴薯
	45,372	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	61,986	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	261,547	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	南幌
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,625,000千円	
年 効 用		170,172千円	
廃用損失額		134,466千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,058,254千円	
費用便益比	= ÷	1.16	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	15,109	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、甜菜、キャベツ、ネギ
営農経費の節減	28,515	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、甜菜、キャベツ、ネギ
	81,229	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	45,319	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計	170,172	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	古山
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,543,500千円	
年 効 用		113,462千円	
廃用損失額		104,271千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,024,472千円	
費用便益比	= ÷	1.31	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	12,253	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、甜菜
営農経費の節減	26,278	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、甜菜
	31,383	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	43,548	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	113,462	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	浦臼
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		441,000千円	
年 効 用		35,200千円	
廃 用 損 失 額		3,752千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0524	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	668,004千円	
費用便益比	= ÷	1.51	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	7,589	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、そば、小麦、 $\mu\mu$
営農経費の節減	16,256	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、大豆、そば、小麦、 $\mu\mu$
	9,022	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	2,333	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	35,200	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	妹背牛南
-----	----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,690,500千円	
年 効 用		135,741千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		46年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0495	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,742,242千円	
費用便益比	= ÷	1.62	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	20,588	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、 スター芋、馬鈴薯
営農経費の節減	56,166	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、 馬鈴薯
	27,315	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	31,672	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	135,741	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	士別
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		420,000千円	
年 効 用		27,840千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		33年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	489,279千円	
費用便益比	= ÷	1.16	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	7,900	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、馬鈴薯、苺、柿、イチゴ、スイートコーン
営農経費の節減	14,258	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、馬鈴薯、苺、柿、イチゴ、スイートコーン
	4,052	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	1,630	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	27,840	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	名寄
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		514,500千円	
年 効 用		38,690千円	
廃 用 損 失 額		3,620千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	722,271千円	
費用便益比	= ÷	1.40	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	10,688	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、かぶ、 アスパラガス、スイートコーン
営農経費の節減	19,532	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稻、小麦、かぶ、 アスパラガス、スイートコーン
	1,082	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	7,388	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	38,690	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東神楽
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		546,000千円	
年 効 用		45,187千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0528	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	855,814千円	
費用便益比	= ÷	1.56	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	6,727	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、 スター芋、馬鈴薯
営農経費の節減	14,194	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、 馬鈴薯
	5,908	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	18,358	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	45,187	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	比布
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		756,000千円	
年 効 用		42,721千円	
廃 用 損 失 額		1,265千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		48年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0487	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	875,963千円	
費用便益比	= ÷	1.15	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	6,742	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆
営農経費の節減	26,671	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆
	5,817	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	3,491	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	42,721	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	美瑛
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		346,500千円	
年 効 用		21,361千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0511	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	418,023千円	
費用便益比	= ÷	1.20	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	5,840	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、大根、スイートコーン、アスパラガス
営農経費の節減	14,310	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、大根、スイートコーン、アスパラガス
	1,119	排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	92	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計	21,361	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	和寒中央
-----	----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		913,500千円	
年 効 用		93,353千円	
廃用損失額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,563,702千円	
費用便益比	= ÷	1.71	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	43,570	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、ジャガイモ、キャベツ、甜菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	49,783	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、ジャガイモ、キャベツ、甜菜
計		93,353	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	南剣淵
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		619,500千円	
年 効 用		50,805千円	
廃 用 損 失 額		3,944千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	861,559千円	
費用便益比	= ÷	1.39	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	29,962	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、甜菜、小豆、馬鈴薯
営農経費の節減	19,051	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、甜菜、小豆、馬鈴薯
	- 199	排水施設の改修（切深確保のため法長増）に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	1,991	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計	50,805	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	山形県	地区名	寒河江西部
-----	----------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		109,200千円	
年 効 用		15,323千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		20年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0750	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	204,306千円	
費用便益比	= ÷	1.87	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	11,194	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、枝豆、アスパラガス、さといも
営農経費の節減	3,817	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：枝豆
	253	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	59	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計	15,323	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	山形県	地区名	楯 岡
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		343,300千円	
年 効 用		34,836千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		19年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0776	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	448,917千円	
費用便益比	= ÷	1.30	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	29,275	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、トルコギキョウ、枝豆、ストック、メロン
営農経費の節減	5,561	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：大豆、枝豆
計	34,836	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	山形県	地区名	大 山
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 6 5 , 4 0 0 千円	
年 効 用		4 8 , 1 1 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		1 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 8 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 5 3 , 6 7 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	3 . 3 4	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3 7 , 8 0 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：枝豆、ねぎ、大豆
営農経費の節減	1 0 , 3 1 4	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：枝豆、大豆
計	4 8 , 1 1 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	山形県	地区名	藤 島
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		118,266千円	
年 効 用		15,920千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		18年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0800	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	199,000千円	
費用便益比	= ÷	1.68	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	12,506	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：大豆、枝豆、馬鈴薯、かぶ、たまねぎ
営農経費の節減	3,356	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：大豆、枝豆
	17	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費用の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	41	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計	15,920	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	山形県	地区名	助 川
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		60,586千円	
年 効 用		7,185千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		18年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0800	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	89,812千円	
費用便益比	= ÷	1.48	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	5,422	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：大豆、枝豆、ねぎ、メロン
営農経費の節減	1,763	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：大豆、枝豆
計	7,185	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	大 浜
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 5 8 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 2 , 6 0 9 千円	
廃 用 損 失 額		2 , 3 3 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 5 2 , 0 3 8 千円	
費用便益比	= ÷	1 . 3 6	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	1 5 , 5 9 6	水田の暗渠排水施行等による乾田化、転作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、牧草、小麦、メキャベツ
営農経費の節減	8 6 9	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	1 3	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	6 , 1 3 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計	2 2 , 6 0 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	太田川上流部
-----	----------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費		302,000千円	
年効用		18,911千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0612	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	309,003千円	
費用便益比	= ÷	1.02	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	5,795	水田の暗渠排水施工による乾田化、転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、スイートコーン、レタス
営農経費の節減	385	水田の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	3,606	用水施設改修に伴う、既設用水施設の補修費・溝さらい等施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	9,125	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計	18,911	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	桑原
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費		80,850千円	
年効用		5,800千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		24年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0665	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総便益	= ÷ -	87,218千円	
費用便益比	= ÷	1.07	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	2,153	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、 イソアライグマ、大豆
営農経費の節減	3,647	ほ場の乾田化による労働時間短縮や機械の稼働時間短縮による経費節減 対象作物：水稲、小麦、 イソアライグマ、大豆
計	5,800	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	佐賀南部
-----	----------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		306,600千円	
年 効 用		38,799千円	
廃用損失額		81,359千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		18年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0811	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	397,050千円	
費用便益比	= ÷	1.29	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	13,315	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：麦、大豆、苺 [*]
営農経費の節減	13,294	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、苺 [*]
施設更新による従前の農業生産の維持	12,190	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計	38,799	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	諸富
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		270,900千円	
年 効 用		46,005千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		23年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0686	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	670,627千円	
費用便益比	= ÷	2.47	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	23,138	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：麦、大豆、苺 [*]
営農経費の節減	22,867	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、苺 [*]
計	46,005	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	大詫間
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		257,200千円	
年 効 用		53,899千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		23年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0686	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	785,700千円	
費用便益比	= ÷	3.05	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	31,942	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、麦、苺
営農経費の節減	21,842	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、苺
施設更新による従前の農業生産の維持	115	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計	53,899	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	久保田
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		231,000千円	
年 効 用		39,522千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		23年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0686	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	576,122千円	
費用便益比	= ÷	2.49	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	20,167	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、麦、苺
営農経費の節減	19,355	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、麦、苺
計	39,522	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	伊万里
-----	----------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		105,000千円	
年 効 用		7,309千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		23年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0682	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	107,170千円	
費用便益比	= ÷	1.02	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,519	水田の排水改良による裏作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、麦、大豆、苺
営農経費の節減	3,790	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、苺
計	7,309	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	白石
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,656,900千円	
年 効 用		293,162千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		23年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0686	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,273,499千円	
費用便益比	= ÷	2.57	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	208,772	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、麦、たまねぎ、小ネギ、大豆、キャベツ、レタス、アスパラガス
営農経費の節減	84,390	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、たまねぎ
計	293,162	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	北方
-----	----------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 6 0 , 6 0 0 千円	
年 効 用		1 5 , 8 0 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 8 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 3 0 , 4 0 8 千円	
費用便益比	= ÷	1 . 4 3	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	8 , 8 4 8	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、麦、たまねぎ、高菜、大豆、ブロッコリー
営農経費の節減	6 , 9 5 8	ほ場の乾田化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、たまねぎ、
計	1 5 , 8 0 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援緊急整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	北新地中央
-----	----------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		630,000千円	
年 効 用		42,413千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	697,582千円	
費用便益比	= ÷	1.10	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	42,413	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、い草、小麦、トマト、キャベツ、レタス、馬鈴薯
計	42,413	